



げんきな子 がんばる子 やさしい子

園だより

11月号

北区立さくらだこども園
園長 西澤 尚子

任せることで生まれる力

副園長 本橋 房子

先日の運動会ではたくさんの方から園児たちに温かな声援を送っていただき、ありがとうございました。子どもたちは、大好きなお家の方に見てもらえるうれしさから張り切って取り組み、特に5歳児は、競技や演技だけでなく司会や係の仕事でも自分たちの力を存分に発揮していました。

子どもたちに自分たちの運動会という気持ちで取り組んでほしいと願っていた教師たちは、運動会に向けて子どもたちに任せたり、信じて待ったりしながら援助してきました。

当日、5歳児が司会をするとき、自分たちで並び順を確認し、タイミングを合わせて司会の台に上がり、礼をして二人ずつ一緒に司会の言葉を言いました。大勢の人の前で緊張し、時には言葉を間違えたり、声が揃わなかったりもしましたが、自分たちで言葉を確認して言い直していました。また、ある司会のグループは私が司会の順番の声掛けをする前に自分たちで仲間を呼び集めて司会の場所にきていました。私が「自分たちで集まったの？すごいね」と言うと、「分かっているから」と返ってきました。その子たちの表情は自信に満ちたとびきりのよい顔をしていました。教師たちが願ってきた、自分に任された役割をしっかりと果たそうとする姿に成長を感じました。

子どもたちと生活していると、グンと成長を感じるときがあります。それは必ずいくつもの体験を積み重ねた上で見られる姿です。運動会での司会の姿も、今まで誕生会でグループごとに司会をしたことや学級の中で自分が思ったことを言葉にしてきたこと、そして運動会に向けて自分たちで考えた司会の言葉と言う姿を教師たちから認められ、「運動会に来てくれる人にしっかりと司会の言葉が聞こえるように」と繰り返し取り組んできたことの積み重ねがあつての姿です。子どもたちは、自分を信じて任せてもらったときに、より一層やる気が高まって大きな力を発揮するように思います。

5歳児のしていることをよく見ていた4歳児は、5歳児の踊りやリレー、司会をまねて楽しんでいます。「年長さんのようになりたい！」という憧れの気持ちは、自分たちが年長児になったときに、様々な活動に意欲的に取り組む姿につながっていくと思います。子どもたちは日々の生活を送る中で自分でできることが増えていきます。自分ですることに喜びを感じられるように子どもたちの力を信じてときには任せてみませんか。運動会を経て、自分で考えて行動する力や友達と支え合う心が育ってきている5歳児たち。これからの園生活の中で、自分たちの遊びや生活を自分たちで考え、友達と協力しながら進めていけるように、子どもたちの力を信じて今後も支えていきます。そして、子どもたちが自分で考え、自分であろうとする力が育っていくことを保護者の皆様と共に喜び合いたいと思います。

—今月の指導のめあて—

- 〈4歳児〉
 - ・気の合う友達と遊ぶ中で、自分なりの思いやイメージを言葉や動きで表したり、友達の言葉を聞いたりし、相手には自分と違った思いがあることを知る。
 - ・お話しごっこや楽器遊びなど、学級のみんなでする活動に取り組む中で、自分なりの表現を楽しんだり、友達と一緒にすることを楽しんだりする。
- 〈5歳児〉
 - ・興味をもって繰り返し取り組む中で、自分なりの目的を見つけ、考えたり試したりすることを楽しむ。
 - ・友達と思いや考えを出し合いながら、遊びや活動と一緒に進めていくおもしろさを感じる。

